

09

10.18(月)

11:00~配信開始

文化情報学部

さの あきこ
佐野 明子 准教授

映像文化のデータ分析：私たちはなぜ映像に惹きつけられるのか？

メッセージ

『鬼滅の刃』やジブリ、『ウルトラマン』はなぜ人気があるのでしょうか？映像をデータ分析する視点を身につけましょう。

概要

映画やアニメーションなどの映像作品を見る時、みなさんはどこに注目しますか？絵がきれい、面白い、などの主観的な見方ではなく、客観的な論拠に基づいて映像を捉える方法もあります。たとえば、スタジオジブリの『魔女の宅急便』では、主人公の顔が大きくうつるクローズアップは全編を通して2回しか登場しません。他の映像作品と比べて極めて少ないと思いませんか？このように、映像をデータ化し、なぜそのように描かれるのか、どのような効果が生じるのかという問いを明らかにしていくことができます。数値やデータ、統計学的アプローチに加えて、社会の動向や、文系学問の豊かな蓄積を参照する姿勢も欠かせません。この講義では、多角的な視点から映像を捉え、ふだん見慣れた映像の新しい姿を見つけるコツをみなさんに習得していただきたいと思えます。